

禮  
術  
兩  
翼  
之  
卷

流  
鏑  
馬  
之  
事

和装本

ケ 5

44

41





大坪本流西翼之卷

春生軒齋藤定易撰

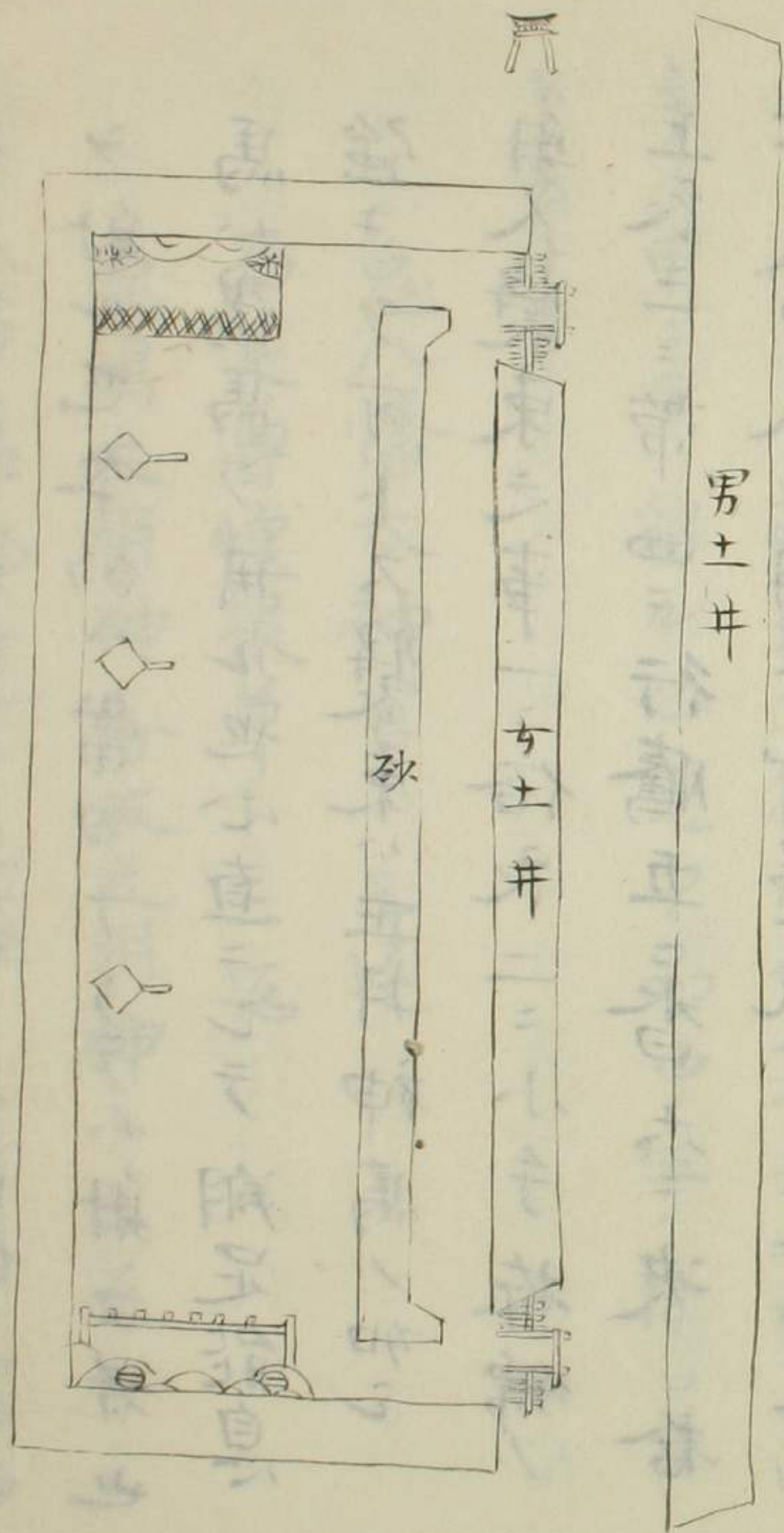
流鏑馬之事

柳流鏑馬者天武天皇ノ御宇ニ初テ此術  
ニ行ル是騎射シテ武ヲ諸臣ニ教ニ給  
フト云ハ然ルニ今ハ神社ノ執行事トナ  
リテ天皇ニモ公方ニモ此術捨レリ右大  
將賴朝公ノ代ニテハ大名諸士ノ勤事ト



セリ馬場殿シニ町ニ攝工男土井女土井  
 トテ土手ヲ筑也馬ノ翔場ニハ白砂ヲ敷  
 的ハニツ掛ル也其形四半ノ如シ一の的  
 ノ間場本ヨリ弓杖五十間ホト二の的ノ  
 間弓杖三十五間ホト三の的ノ間弓杖二  
 十七間ホト也的串ハ八尺ニスル也 土際  
 ヲリ上四尺ニ立ル者也昔ハ人ニ持セテ  
 射タル也猶其式奥ニ記スナリ

流鏑馬々場殿之圖



當日四五日前ヨリ足揃シ棄也的、藁的  
シ射ル也奉的、當日ナラテハ射又者也  
馬ハ陽馬シ用ル也心直ニシテ翔足能息  
強キヲ可トス將東ハ正月神馬ノ如シ  
射人將東之事一ニ俗衣ニニ小手拵錦ノ  
上衣ニニ帶四ニ行騰五ニ沓六ニ決拾  
七ニ太刀八ニ扇子九ニ疊紙十ニ笠十一ニ  
策十二ニ弓矢也

流鏑馬決拾指ヤウハ先一重廻シテ結ヒ  
手ノ甲ヨリ藥指工掛ル也其上二重ノ内  
手ノ甲ニテ留ル也是中品中生ノ指ヤウ  
ト云ナリ

兔八幡太神官卜三返。

面足尊惶根尊卜三返。

鹿嶋大明神香取大明神卜三返。

八百萬神達卜三返。

射人ハ弓馬ノ達人ヲ用ヘシ 的立ノ役人  
ハ猶以テ弓馬功者ニナクシテハ成カタ  
キ役也 頼朝公熊谷ニ即直實ニ此役仰セ  
付ラレシ事 東鑑ニ見エタリ

馬場拂ノ役人ハ何レニテモ吉シカラス布  
衣ノ袋束シテ射人ヨリ暫ク先ニ乗ナリ  
警固ノ侍左右ニ八人ニ行ニ異フ也 口傳  
射人ハ先宮廻リシテ其後引返シ場拂ノ

通り過タル時馬場本ヨリ乗出シ馬ヲ場  
ニ押禦ト弓ニ矢ヲ番ヒ一歩ニ出スヘシ  
弓ハ起シテ時タル能ク矢ハ下ヨリ抜ク  
ル吉勿論矢ハ目無籍矢ヲ用ル也  
矢取ノ役人素袍烏帽子ヲ着スルナリ  
馬長之事 口傳

笠懸之事

笠懸ハ右大将頼朝公ノ代ヨリ射初ル也

就中小笠懸ヲ以テ登トス馬場ノ間凡ソ  
一所也前疏後疏トテ馬場殿ノ中ニ溝シ  
一尺五寸ニ堀テ其内シ馬シ馳テ的シ射  
ル也中古ハ馬場シニ町半ニ攝エ大溝  
シ三角ニ堀通シ上下馬ヲ入ルナリ其  
足入ト云ハ的ハ馬場殿ノ中程ニ懸置  
ル手ノ方ニ埒シ馬場殿ノ長程ニ結フ也  
是ニ男埒女埒ノ品アリ的ハ串的ニスル

ナリ串ノ長ハ尺土際ヨリ上四尺ニ立ル  
也的ノ勢一尺八寸皮的シ用ル也昔ハ細  
代笠ヲ懸テ射タル也射人ハ狩装束シテ  
指懸シサレ行騰沓シハキ笠懸蓋目シ  
以テ己上十度射ル事也

小笠懸之事右ノ馬場殿シ逆ニ入テ射ル  
也的ハ四方四寸也串ハ一尺五寸也五  
寸ハ土工入也又上ニ寸ハ的シ挾ニ用ル

也勿論串ハ藤鞭也的ノ遠蹠ヨリ八寸也  
少仰ケテ立ヘシ様躰ハ大概遠笠懸ノ如  
シ其外神事ノ笠掛七夕笠懸ナト云事ア  
リ射方馬乗ヤウ替ルナリ  
笠懸決拾指ヤウ陰陽アリ陰ハ二重目ニ  
中エ通シ前エ取テ留ル也陽ハ一重廻シ  
テ前ニテ緒ヲ取揃エテ留ル也下品下品  
ノ指ヤウト云也

八幡太神宮ト三返

豊斟淳尊ト三返

鹿嶋大明神ト三返

八百萬神達ト三返

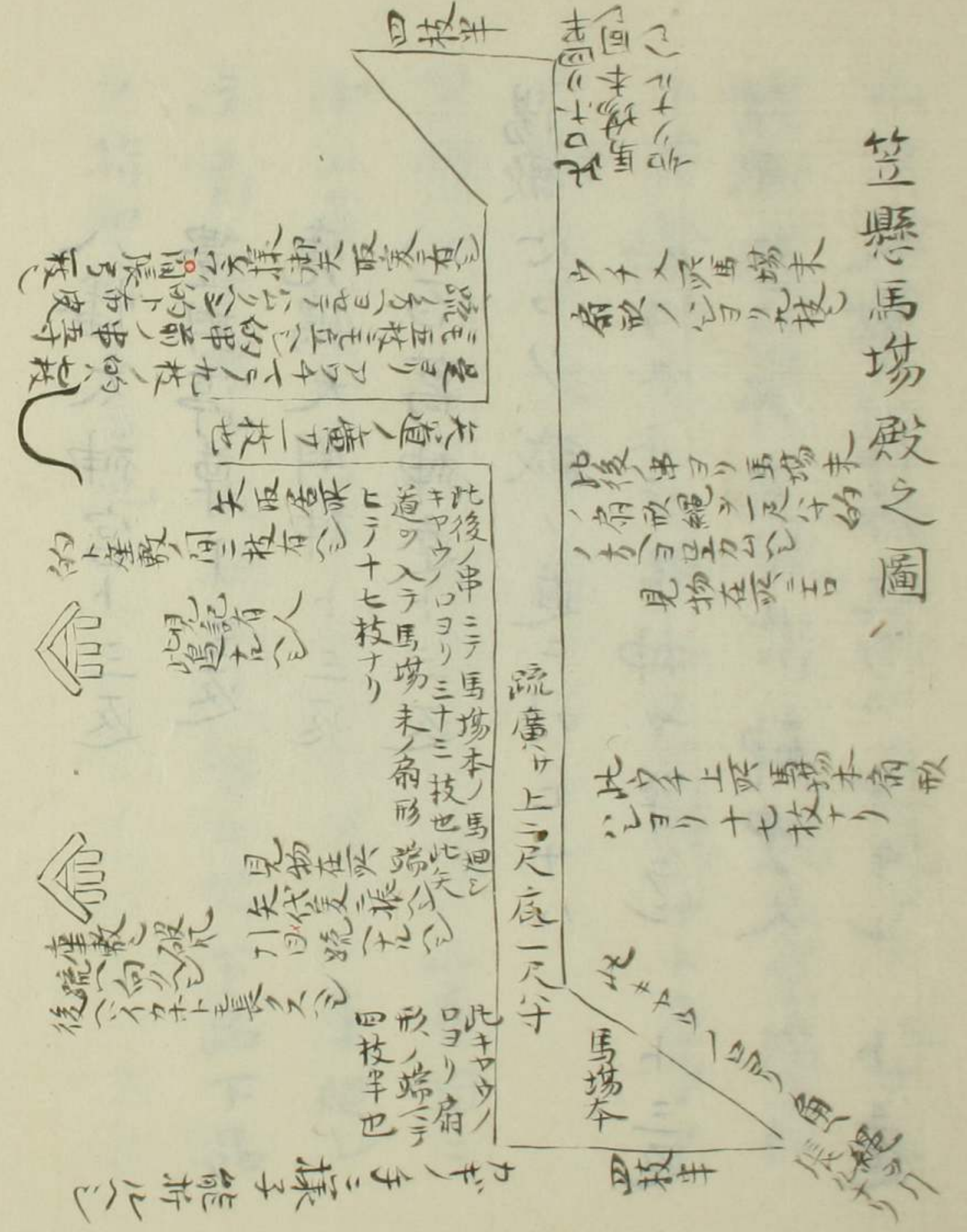
陽歌心コソ誠ノ道ニ叶ヒナハ

祈ラストテモ神ヤ守ラシト三返

陰歌慈悲佛直ナルハ神曲ハ人

人獨リヲソニウニ分ケルト三返

笠懸馬場殿之圖



馬場殿ノ形凡リ追廻シ馬場ノ如シス貴  
 人御座所ハ遠笠懸小笠懸ニ隨テ連テ下  
 ナリ  
 笠懸檢見ハ此方ニ何公スル者也勿論弓  
 馬功者ニタクシテハ成カタキ役也呼次  
 一人ハ向フニ何公スヘシ賢東何レモ素  
 袍袴ヲ着スル也的立矢取同前也是亦  
 傳ヲ用ルナリ



笠懸ノ馬ハ下地ノ馬シ用ル也昔ハ犬足  
ニテ射タル也犬足トハ野足ノコナリ  
馬具ハ儀式ニスヘシ鎌差繩ハ勿論掛ル  
者也

### 挾物之事

挾物者一条四郎長能射始ト云レ的ハ八  
寸四方ノ折敷ヲ立テ神頭シ以テ射下也  
其折敷ノ裏ニ切目シ付置也矢強ク中ル

時ハ板割碎ル也是シ以テ勝トス板割也  
サレハ中リト称セス鍊馬シ以テ射ルト  
ハ此時ノコナリ条々口傳

### 八的之事

八的ノ發リ未辨シカタレ何レニモ古キ  
騎射也馬場殿ノ両方ニ四半ヲ四枚宛ハ  
枚立テ馬ヲ序破急ニ往還シテ射ルト也  
或烏帽子履扇揚枝疊紙生花筭小柄此等

ノ八色ヲハ歟ニ掛射シ以テハ的ト云説  
ス之在ル也

### 草鹿之事

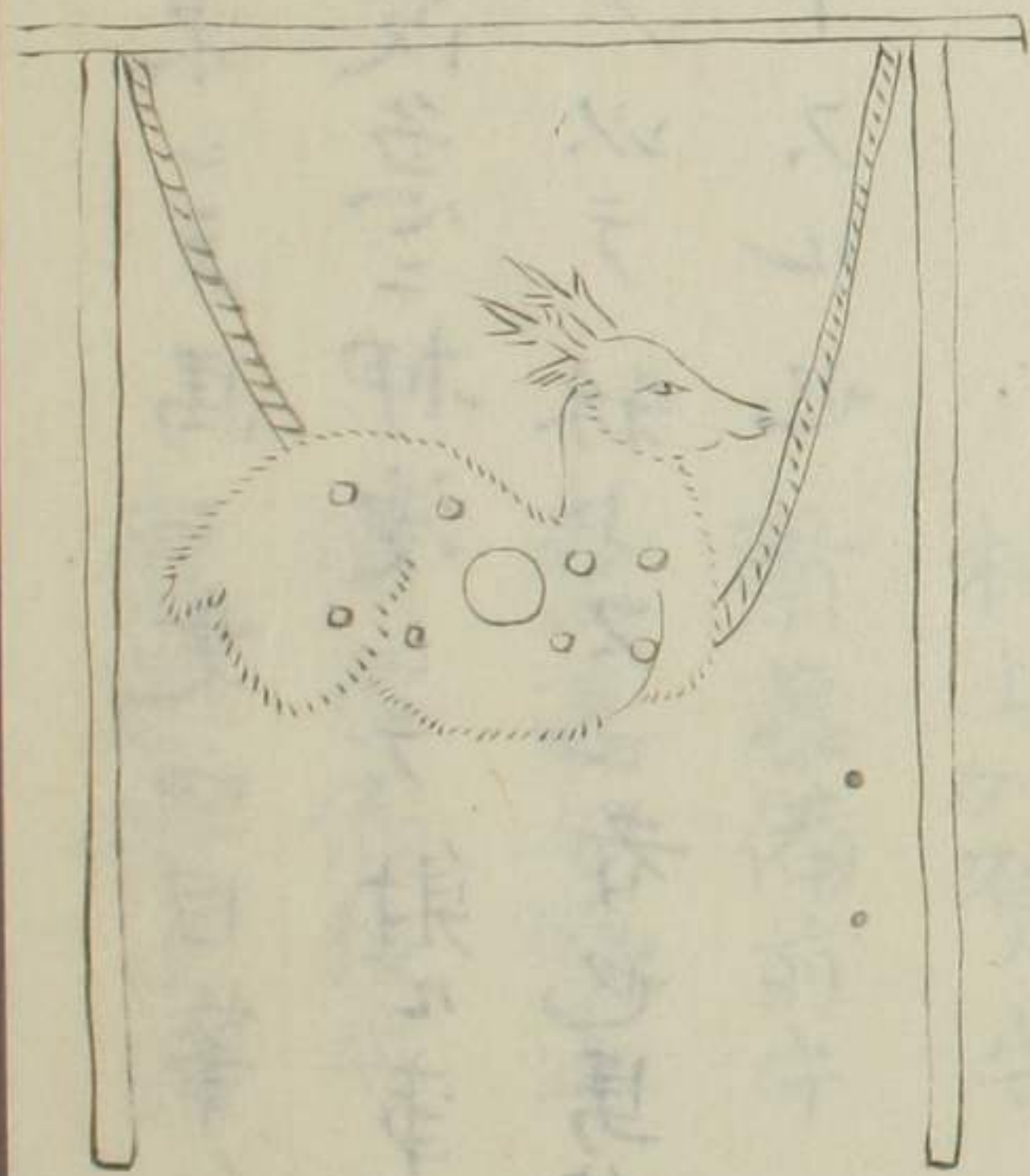
草鹿ハ右大将頼朝公ノ代ニ發ル也三浦  
梶原比企ノ武士シ召レテ此勝負アリシ  
ナリ又頼朝公富士ノ庄ニテ庄司三郎シ  
召レテ鹿ニ矢中ルノ弓杖御尋アリシニ  
家ノ殿原ニ御尋候ヘント申ケレハ武田

小笠原兩家シ召レテ御尋アリ皆評定ニ  
テ馬ノ尻ト鹿ノ尻シ折テ見ルニ弓杖ノ  
一杖也是シ草鹿ノ髀古トテ其形ヲ移シ  
設テ十一杖シ畧シ九杖ニ定メ草シ以テ  
鹿シ作弓搦シ仕タル者也  
草鹿ハ草藁シ以テ鹿シ作ル是古來ノ法  
也或草鹿トハ鹿野草シ走ル形シ表シテ  
弓搦子ヲヒ物ノ舊古トスルナリ是故ニ

足ヲ作ラスト云々中古ヨリ是ヲ紙ニテ  
 張脱鹿ニシテ射ル也其長一尺八寸豎  
 廿一八寸面ノ長サ八寸五分面ノ表ニ寸  
 五分背通ニ星七ツ矢中ノ星四寸廻リノ  
 大星也其外以上星數九ツ也大ニ四ツ小  
 ニ四ツ矢中ノ星ノ前後ニ四苑星ヲ付ル  
 也皆通ノ間五寸裏ニ二ヶ取乳ヲ出シ腰  
 繩ヲ引通ス也串ハ五尺也内法四尺豎串

ハ土ノ上三尺七寸或三尺八寸ニモスル  
 也木ノ太サ切口ニテ一寸五分或三分ニ  
 モスル者也

草鹿之圖



射手ハ狩獵束シテ馬ニ乘四目等ノ矢ヲ  
以テ馬ヲ序波急ニ押渡シテ射ル事ナリ  
其中リ動クシ以テ称トスル者也馬場殿  
ハ平庭ヲ吉トスル也

當流宗師

日本武尊

迎來流

貞純親王

鹿嶋流

八幡太郎義家

大坪流

六條判官 為義

湯山入道中原玄性

大坪式部太輔 廣秀

村上加賀守 永年

齋藤備前守 国忠

齋藤安藝守 好玄

齋藤備後守 忠玄

齋藤齋宮頭 辰遠

大和守

大坪本流

丹列住僧了慶坊

齋藤末馬 辰光

齋藤主稅 定易

齋藤前中 國忠

林上公賢中 永章

大社大將本陣 重吉

齋藤入道中京 玄井

六新洋守 善美

